

読売日本交響楽団

松戸 特別演奏会

時を越え私たちが魅了するあの名作

華麗なる

新世界

躍動するリズムと輝かしい響き
哀愁のメロディから興奮のクライマックスへ

“コバケン”の愛称で名実ともに人気を博し
熱いタクトで聴衆の心をつかんでやまない

炎のマエストロ

小林 研一郎

(読響・特別客演指揮者)

[オール・ドヴォルザーク・プログラム]

チェロ協奏曲

交響曲第9番「新世界から」

2010年弱冠21歳でブラームス国際コンクール優勝。
英国ウインザー祝祭国際弦楽コンクールで日本人初優勝。
昨年は、英国の殿堂ウイグモア・ホールにデビューするなど
ロンドンと日本を拠点に世界で活躍する注目のチェリスト。

伊藤 悠貴 (チェロ)

読売日本交響楽団 (管弦楽)

2019年 11月16日(土) 14時開演 13時30分開場

松戸・森のホール21 (大ホール)

全席指定 S席4,500円(税込) A席3,500円(税込)

プレイガイド

◆森のホール21チケットセンター TEL.047-384-3331
10:00~19:00(月曜休館(祝日の場合は翌日))
◆チケットぴあ(Pコード:146-577) TEL.0570-02-9999
◆ローソンチケット(Lコード:34916) TEL.0570-000-407

◆イープラス <http://eplus.jp>
◆CNまつど TEL.047-330-1878
◆Ro-Onチケット TEL.047-365-9960

2019年
5月12日(日)
一般発売
5月11日(土)
ピコ・メイ
会員先行発売

※都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

※本公演には託児サービス(有料・予約制)があります。イベント託児 マザーズ TEL.0120-788-222(月~金10:00~17:00)

※森のホール21駐車場は大変混雑いたします。電車・バスをご利用ください。※車椅子をご希望の方は、森のホール21チケットセンターにお問い合わせください。

主催:(公財)松戸市文化振興財団 共催:松戸市教育委員会 後援:読売新聞千葉支局 協力:新京成電鉄株式会社

日本のトップオーケストラ、読売日本交響楽団による松戸公演 芸術の秋、極上の音楽と紅葉の饗宴を満喫

“コバケン”の愛称で親しまれ、聴衆の心をつかんでやまない炎のマエストロ小林研一郎が読響と森のホール21に登場!

2018年2月、森のホール21を感動の渦に巻き込んだ名コンビが2019年秋、再び松戸にやってきます。

今も世界中で絶大な人気を誇るチェコの作曲家ドヴォルザークのふたつの名作を揃えました。

交響曲第9番「新世界から」では、躍動するリズムと輝かしい管弦楽の響きで圧倒的なクライマックスを築き上げます。

第2楽章では「家路」のタイトルで有名な哀愁たぐやうメロディが自然と涙を誘います。

前半は、重厚なチェロ協奏曲で芸術の秋を彩ります。

数々の賞に輝き国際的に活躍する注目のチェリスト伊藤悠貴が超絶技巧を披露し、親しみやすい旋律を朗々と歌い上げます。



こばやし けんいちろう
指揮 **小林 研一郎**
Ken-ichiro Kobayashi

1940年、福島県いわき市出身。東京藝術大学作曲科及び指揮科を卒業。74年、第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。ハンガリー国立響の音楽総監督をはじめ、チェコ・フィル常任指揮者などを歴任。2011年8月からは読響の特別客演指揮者を務めている。02年「ブラハの春音楽祭」オープニングコンサートの指揮者に東洋人として初めて起用されたほか、ハンガリー政府から星付中十字勲章を授与された。11年文化庁長官表彰受賞。13年旭日中勲章を受章。ハンガリー国立フィル桂冠指揮者。東京藝術大学、東京音楽大学およびリスト音楽院(ハンガリー)名誉教授。

いとう ゆうき
チェロ **伊藤 悠貴**
Yuki Ito
©Hideki Shiozawa
www.yukiitocello.com

15歳で渡英。2010年ブラームス国際コンクール、11年英国最高峰のウィンザー祝祭国際弦楽コンクールで日本人初優勝。“世界クラスの利器”と評され、国際的に活躍。11年フィルハーモニア管にデビュー。以来、国内外の主要オーケストラ、小澤征爾、V.アッシュケナージ、D.ゲリンガスらと共演。16年宮沢賢治生誕120年記念NHKリサイタルを開催、その模様は世界各国で放映され、100年記念にはヨーヨー・マが行った大役を担った。18年ウィグモア・ホールにてリサイタルデビュー。19年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。今後にますます期待が寄せられている。



管弦楽 | 読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のクラシック音楽の普及と振興のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。2019年4月からドイツの名匠セバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者に就任し、東京のサントリーホールでの定期演奏会を軸に充実した内容で演奏会を多数開催。このほか、社会貢献活動として、公益財団法人「正力厚生会」のがん患者助成事業への協力や、小中学校でのコンサートなどを開催し、音楽文化のすそ野拡大にも取り組んでいる。17年度サントリー音楽賞受賞。《定期演奏会》などの様子は日本テレビ「読響シンフォニックライブ」で放送されている。



■交通 新京成線「八柱駅」南口/JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩約15分 新京成バス小金原団地循環・バス案内所行または新松戸駅行バス約5分「公園中央口」下車、徒歩約2分

■所在地 〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀646-4
TEL.047-384-5050 FAX.047-384-5243
ホームページ <https://www.morinohall21.com/>

※森のホール21駐車場は大変混雑いたします。電車・バスをご利用ください。